



本渡市立老人福祉センターは、クリシタン公園のすぐ近くにある。

本渡市立老人福祉センター
使用費心得

一 使用時間 自 午前九時 至 午後五時
但し入浴は午後一時から午後五時五分まで

一 使用料 市外 市外 二百五十円
 市内 市内 五十円

一 休館日 毎週 月曜日
 祝祭日の翌日

一 使用者はセンターの建物及び備品は大切に取扱ひ使用後は指定の場所に返納して下さい

一 使用者は老人相互の親睦と融和を図り他人に迷惑をかけることのないように留意して下さい

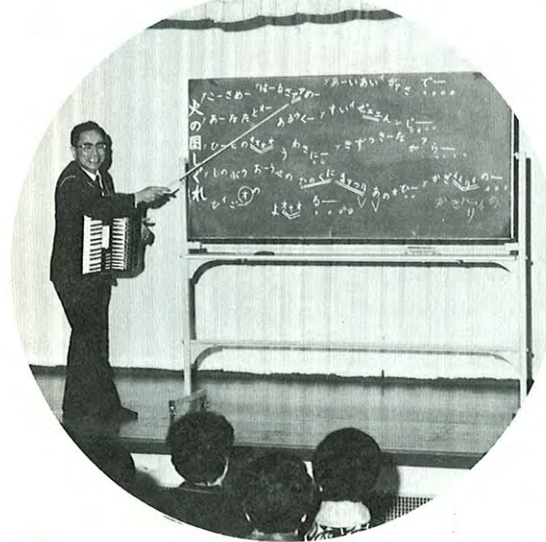
日曜日が待ち遠しいという老人達は、いかにも楽しそう。



老人達のレパトリーも10曲近くになった。



休日返上で奉仕活動続ける原田格氏



音楽仕奉

へこさめ はるさめ〜 (火の国しくれ)
 九十名近くの老人が、口を大きく開けて歌っている。打ち解けたムードの中にも老人の真剣な目差しを受けて、昨年九月からボランティアで歌謡教室を開いている原田格氏の歌謡指導にも自ずと熱が入る。

原田氏は本渡市内で時計店を経営しているが、復員後、音楽の教師をしていたこともあり生来の歌好き、得意のアコーディオンを持つて、毎週日曜日の正午から一時間半、休日返上でこの音楽奉仕を本渡市老人福祉センターで続けている。歌を歌うことは腹筋運動になり、長い歌詞を覚えることはボケを防ぐ一

つの手段にもなりますが、なによりも歌を媒体として老人が家族に自然に溶け込めたら：という願いを込めて始めたとのこと。

なるほど、練習曲は、「火の国しくれ」など熊本にちなんだ歌謡曲中心だが、息抜きと称して孫達が良く口ずさみそうな「スイスイ」で有名な「めだかの兄妹」を教授するなど心遣い配慮がなされている。日曜日が待ち遠しいというおばあちゃん達は、「先日老人会の旅行で、歌つたんですよ。ここで習った歌を」とうれしそうに語ってくれた。